

# 守口大根長さコンクール



吉本お笑い芸人 Span!  
水本健一さん



Span!  
マコトさん

長いの〜



個人の部1位

2月15日、第6回守口大根長さコンクールを、市役所1階南エリア大会議室で開催しました。13団体と個人9人から作品出品がありました。当日は、もりぐち夢・未来大使の池乃めだかさんを特別審査員として、司会には吉本お笑い芸人のSpan!さんを迎え、多くの観覧者の中でコンクールが始まりました。Span!さんの軽妙な司会と、池乃めだかさんの楽しい喋り口調で会場は笑いの渦に。作品の計測後、結果発表までの時間には、守口市の指定無形民俗文化財、寺方提灯踊り保存会による河内音頭寺方節「守口大根物語」が披露されました。



団体の部特別賞  
(栽培協力者  
シルバー人材センターの会員)

審査の結果は次のとおりです。  
▽団体の部1位  
船木工務店  
記録【174cm】  
▽団体の部2位  
特別養護老人ホーム梅香苑  
記録【136cm】  
▽個人の部1位  
藤田義穂さん  
記録【185cm】  
▽団体の部特別賞  
大宮保育所  
▽個人の部特別賞(特別審査員賞)  
六倉幸代さん



個人の部  
特別賞



もりぐち夢未来大使  
池乃めだかさん



問地域振興課 TEL06-6992-1491

## 守口大根って知っていますか

### 長さ世界一の大根

本市の伝統野菜である「守口大根」は、平成19年に大阪府の「なにわの伝統野菜」に認証されました。

「守口大根」は、長さ1m以上、長いものでは2mを越えます。主に漬物として食されています。現在は、愛知県・岐阜県の本曾川沿いで栽培され「守口漬」として販売されています。

16世紀ごろから20世紀初頭まで大阪から守口市の淀川沿いで栽培され、その後宅地化などで大阪府内での栽培が途絶えていましたが、守口市農業研究会が、復活に向けて取り組んでいます。

### 守口大根の由来

大阪城が築城される以前の安土桃山時代(16世紀ごろ)と、栽培の歴史は古く、淀川沿いの大阪天満宮付近や長柄、橋寺付近に長大根として栽培地が点在しており、当時の一寒村であった守口の中洲(外島、狼島、土居)で栽培されていました。大阪城が1583年に築城され、城下町の発展とともに付近の市街地化が進み、江戸時代後半にはこの付近の長大根の栽培は消滅しました。

大阪天満宮周辺を発祥とする「大阪宮前大根」の香の物を、豊臣秀吉が大阪城と京を往復する折、守口の地で休息を取った際に献上したところ、風味が格別だったことを大いに賞賛しその名を「守口漬」と命名したことから、その後守口大根と呼ばれるようになったと伝えられています。

注 狼島は旧守口市役所から、守口小学校西側一帯にあった中洲



昨年12月に行われた守口大根収穫祭にて

## なにわの伝統野菜

大阪府では、100年以上前から生産されており、苗や種子などの来歴から品種など、大阪独特の昔ながらの伝統野菜を見直そうと、平成17年から「なにわの伝統野菜」の認証制度を作り、伝統野菜の復活に取り組んでいます。

「毛馬胡瓜」「天王寺蕪」「大阪しろな」など17品目が認証されており、平成19年には「守口大根」が16品目として追加、現在では「難波葱」が今冬、新たに仲間入りし、合わせて18品目になりました。

- 毛馬胡瓜、玉造黒門越瓜、勝間南瓜、金時人参、大阪しろな、天王寺蕪、田辺大根、芽紫蘇、服部越瓜、鳥飼茄子、三島独活、吹田慈姑、泉州玉葱、高山真菜、高山牛蒡、守口大根、碓井豌豆、難波葱

